

## コドモ座誕生日の日に

千葉縣女子師範學校附屬幼稚園 渡部 きよ

十二月十四日、今日はコドモ座誕生日、去年の今日私共の園では初めて幼児達に人形芝居を見せた日でした。(小兎とライオン、浦島太郎) 思ひなやんだ末にいろいろの物を組み合はせてどうやら物にした時の私共の喜び、幼児等の喜びは大したものでした。今日は又一年間のおぼつかない努力の跡をふりかへつて見て日頃の希望もだん／＼いれられていくらかでも理想に近づいて來た様に思はれるこの喜び、共に嬉しい／＼日です。幼児等の何より楽しみな土曜日は又私共にも待たれる楽しい日になりました。本校の講堂である劇場に各

児が手に手に切符を持つて(廣告の紙を細く切つたもの)喜び勇んで出かける足どりといひ、あの嬉しそうな顔といひ、これだけでも私の希望は達せられた様に思はれて嬉しくてなりません。しかし過去をふりかへつて反省して見る時にまだこの人形芝居を通していろいろの方面によい經驗を得、參考になる材料を興へられた事を非常に喜んで居ります。人形芝居が幼児保育の上に及ぼす効果の數々はいつぞや倉橋先生から伺はせていたゞきましたので皆様も御存じの事と思ひます。私はこの人形芝居が私共保育の任にあたる者にもいろいろ

の効果と與へてくれるものと思はれます。今私の感じました二三の例をあげて見ますと、

第一には幼児等の日頃の遊びの中に時々この劇が表はれて来る事で御座います。劇と云つても一つのまとまつたものではなく一幕の内のある部分のみの場合と全體を通じて覺へた言葉、興味に、乗つたところばかりを一緒にして幼児等同志で組立てたところの一つの劇ですから勿論幕の切れ目もなく又辻褄の合はないところが出來て居ります。しかしこれを演じて居る幼児等は勿論、見物してゐる幼児等も大喜びで居るのに驚かされる時が度々御座います。それも初めが面白い事には鬼ごつこから遊びが發展して來て「七匹の小羊」になつたり、おまゝごとから「赤づきん」のお芝居になつたり役割も勿論幼児等同志で定められるのです。でも時々にくまれ役の狼とかライオンとかには希望が少いと見へて保姆とか實習生を呼びに

まゐります。そして何度も何度も同じ事か操り返されるあの心理にはいつも驚いて居ります。こんな表はれが良い事か悪い事かまだ私には分かりませんが、しかし遊びの様子が如何にも面白そうで一才の無理もなく七、八名から十二三名の幼児が平和なグループを造つて氣持よく遊ぶ事だけでもわるい事ではない、かと思ひまして幼児のするがまゝに現在も續けて居ります。こんな風に表はれて來るものは脚本の内容が幼児等の興味と合つたもの、又二三度重ねて見たもの、何度も聞いてゐるお話等であります。又私の失敗した経験によりますと浦島太郎のタコ踊を幼児等の喜びにまかせて一幕の中に二回も出した事がありました。其の時には一寸滑稽的にまねされて困つた事も御座いました。こんな事から考へても脚本の内容や表はし方等には充分氣をつけなければならぬと思ひました。間接興味を起す事にのみ骨折つて徒らに幼

兒等の末梢神經を刺戟したくないと思ひます。

第二はお話に對する子供の心理的發達がよくわかると思ひます、幼兒は芝居を見るものであるかしら、聞くものであるかしら、又お話も時によると見てゐる時が多くはないかしら、といふ事をつくく感じさせられました。年齢によつて相違はありますが、とに角小さい幼兒はたゞ舞臺に表はれた人物を眺めて喜び、ぼんやり過してしまひはしないかと思はれる事も御座います。舞臺の中の人物がはつきりわかつてしまふまでは言葉は耳に入らないのかも知れませんが一二回重ねて見るものはずつと言葉の方にも理解が出來てまゐりますがとに角小さい方の組の幼兒は初めての時は見るのがやつとの様ですから脚本のつくり方又實演に際しての言葉づかひ等の早さには相當注意をはらつてやらなければなりません。大きい組の幼兒になりますと直接内容の方に興味を持つて早く事の運

びを知りたい様に一生懸命注意し想像してゐる様に思はれます。又幼兒等には動物に生命を入れて想像する事は容易であつても靜物に生命を入れて想像する事はよほど進んでゐる子供でなければ困難だといふ事がはつきり納得されました。去る九月下旬に秋の果物を人物にして八百屋のお店を仕組んだ二幕物を見せた事が御座いました。私の考へとしては幼兒の生活に近い物だからさぞ喜ぶだろうと思つて豫想して居りましたところ案外な結果を得ました。喜んだ事はすいぶん喜びましたが、小さい組の幼兒はたゞ登場する色々の果物がめづしらくて言葉等には耳をもかさずに終りまで自分勝手な果物の話をして喜んでゐた幼兒もあつた様に思ひました。大きい組の幼兒には相當内容の興味を感じた者があつた様に思はれました。大人の世界からは割合に遠い様に思はれるが日様、ち星物の方が幼兒等には相當近いものである事も察せ

られる様になりました。以上一、二に表はれました所を見ましてもお話の材料、選擇、方法等にも相當へさせられると同時に又一方には大變よい參考となりました。ゼスチャーを多く使つて間接興味ばかりに骨折る事もどうかと思はれますし、小さい幼児はやつぱりお話をも見てゐる様に思はれる時も御座いますのでこれらの程度については充分考へる必要があると思ひました。

第三は幼兒等の個性觀察の機會が與へられる事で御座います。幼兒係として保姆一名に實習生二三名は必ず幼兒等と一諸にお芝居見物をしてありますのでいろいろの機が與へられて各兒の個性が相當はつきり分つて來る様な氣持がいたします。

其の他にまだいろいろ細い事が御座いまして自分の失敗も何かと參考になつて居りますがあまり長くなりますので又の機會にゆづりまして誕生當

時より改良されました舞臺について一寸お話ししたし度いと思ひます。

舞臺は一間に一間の組立式にいたしましたことへでも持ち運びが容易に出来る様にいたしました。組立た舞臺の天上と片側には黒と白のカーテンをさざられる様にして御座いますのでいくらか明暗もつけられますし、又懐中電燈も使用して時の氣分を出して居ります。背景、人物、等はあまり改良されては居りません。だん／＼慾が出てまゐりまして時々大人の考へからまゝとまり過ぎた感じの物を造つてしまひそうですから倉橋先生の御言葉を拜借して申しますならば「まづさの程度」をこさない様注意して居ります。しかしどの程度がまづさの丁度良い程度かも今のところはつきりいたして居りませんので皆様方からもいろいろの御發表を伺はせて戴いて尙進んで行き度いと思つて居ります。

只今では保姆と實習生とで七種ばかりの物が實  
 演出来る様になつて居りますので事故の起らない  
 限り毎土曜日には各組の幼児等が（一組約三十五  
 名）ゆつくりと二つ位のお芝居を見物出来る様  
 になりました。幸ひとお茶の水の幼稚園から脚本集  
 を出していたゞいて居りますから今後共幼児等の  
 樂しみをつゞけて行かれる事と喜んで居ります。

ほんとに浅い／＼經驗では御座いますが私にと  
 りましては初めての嬉しい／＼事で御座いまし  
 た。終りに臨みましてお茶の水の先生方からもい  
 ろ／＼御教へいたゞきました事を深く感謝して筆  
 を止めます（五、一二、一四）



よ し こ

○保育室の花をかへんと春の朝十分早く  
 電車に乗りぬ

○久にして心ま和みぬこの朝あした株梧竹の葉の  
 ちりぬぐひぬて

○人形芝居終りたるらしこの室は小さき  
 拍手のつゞけり 今や

○兒この胸の高なりす手あてしまゝにかき  
 抱かかき黙もしぬぬ數十秒（あらそひにまけ  
 し子をかばひて）

○雪どけの水はちろ／＼と樋より落ちても  
 の寂かにも暮れゆく夕べ